

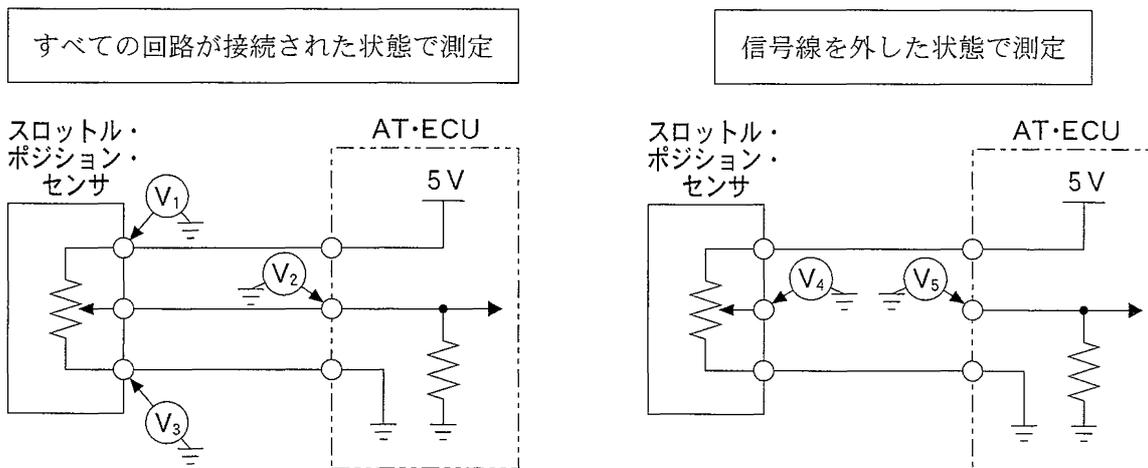
平成17年12月 検定試験

【No.35】 ダイアグノーシス・コードを点検したところ、スロットル・ポジション・センサの異常を示すコードを表示した。図に示す回路において、点検結果から考えられる不具合原因として、適切なものは次のうちどれか。ただし、正常時のスロットル・バルブの信号電圧は、スロットル・バルブ全閉時 0.5V、全開時 4V とする。

点検結果

- ・ V_1 の電圧が 5V であった。
- ・ V_2 の電圧は、全閉時、全開時ともに 5V であった。
- ・ V_3 の電圧が 0V であった。
- ・ V_4 の電圧がスロットル・バルブ全閉時（約 0.5V）及び全開時（約 4V）で変化があった。
- ・ V_5 の電圧が 0V であった。

図



- (1) スロットル・ポジション・センサ内部短絡
- (2) センサ電源線とセンサ信号線の短絡
- (3) AT・ECU の内部短絡
- (4) センサ信号線とセンサ・アース線の短絡